



Lend a Hand 「手を貸そう」
2003-2004 年度国際ローラーのテーマ

RI 会長 ジョナサン B. マジリアベ
第 2640 地区ガバナー 前窪貴志



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1344 回例会 16 年 2 月 16 日(月)

於 海南商工会議所 12:30 ~

1. 開会点鐘 会長 田中丈士
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲストの紹介
和歌山新報社社長 津村尚志様
ガバナー補佐 川口善一様
財団奨学生 ジョナサン・ミエンサシトン様
4. 出席報告
会員総数 73 名 出席者数 52 名 出席免除会員 2 名
出席率 73.24% 前回修正出席率 80.28%

5. 会長スピーチ 会長 田中丈士



こんにちは。本日はゲスト卓話に和歌山新報社社長の津村尚志様をお迎え致しております。ご多忙の所有難う御座います。ゲストに川口ガバナー補佐をお迎え致しております。例会後のクラブ協議会御指導の程宜しくお願い致します。ゲストとしてロータリー財団奨学生のサントン・ジョナサンミエンさんが出席されております。先般の新年夫婦例会ではタイ国の民族舞踊を披露していただきまして有難う御座いました。

確定申告も近づいてまいりましたが、新生銀行と言えば皆さんご存知の事と思いますが、1989 年(平成元年)を頂点にしてバブルが崩壊してから今日迄日本経済は下落の一途をたどってまいりましたが、中でも金融機関が特に冬の時代が続いております。時の日本長期信用銀行は、貸し出し債権 7 兆 7 千億円の内、不良債権 3 兆円で行き詰まり国の管理になりました。その後国は、米投資会社リップウッドホールディングスに約 13 億 5 千 8 百万株を 1,210 億円で売却致しました。そして、新生銀行として再出発したのでありますが、この 2 月 19 日に株式市場に再上場する事になりました。上場時の売出し株数は全体の 32% の 4 億 4 千万株で売出し価格は 1 株 525 円と決まり 2,310

億円となります。1,210 億円で買収していますから、1,100 億円の売却益が出るわけですが、この売却益に対して日本での税がかからないようであります。外資に対しての徴税権がないようで有りまして、残念ながら外国資本には日本の金をうまくもっていかれてしまうと言う事でありませう。我々わずかな収入にも税金を払っているものからすると理解が出来にくい思いであります。しかし、日本の企業の中にもトヨタの様に今年度通期連結決算で純利益 1 兆円を日本で初めて越すようであります。不景気と言ってもこの様な優良企業もあります。

本日例会後、クラブ協議会になってまいります。各委員長の方々には宜しくお願い致します。この後、津村様の卓話をお願い致しております。御静聴お願い致します。

6. 幹事報告

メーキャップ

和歌山東 RC 中尾 公彦君 2/12

例会臨時変更のお知らせ

粉河 RC 2 月 25 日(水) 2 月 25 日(水)

午後 7:00 ~ お食事処「いろは」

3 月 10 日(水) 3 月 11 日(木)

午後 6:30 ~

J A 紀の里ふるさとセンター

(粉河、岩出、打田 3 クラブ合同例会)

打田 RC 3 月 11 日(木) 3 月 11 日(木)

岩出 RC 3 月 11 日(木) 3 月 11 日(木)

和歌山東南 RC 3 月 31 日(水) 3 月 31 日(水)

午後 6:30 ~ ルミエール華月殿 6 F

休会のお知らせ

和歌山東南 RC 3 月 24 日(水)

8. ゲスト卓話 「地方新聞と地域社会」

(株)和歌山新報社 津村 尚志様

ただ今、ご紹介いただきました津村でございます。

私は、30 歳の時、東京から U ターン致しました。家業があつて後を継ぐためではなく、男兄弟がいなかったため、親との綱引きに負けて帰郷した



四つのテスト

真実かどうか
みんなに公平か

好意と友情を深められるか
みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田中丈士 幹事: 宮田貞三 SAA: 瀬藤友子

わけです。父親は元中学校の校長で、柔道 8 段の偉丈夫、本当に怖い親だったのです。綱引きに負けて当然です。東京で月間雑誌の仕事をしていましたので、帰るための唯一の条件は、郷里でも同じような仕事があったら、ということでした。それで、御坊には日刊の地方新聞が 2 社ありまして、一つは「紀州新聞」と言っ、同族型で隆々として凄い羽振りで発行部数も多かった。これに対してもう一社の「日高新報」は歴史は古い、裏表 1 枚のピラピラ新聞で、住民のほとんどが相手にしない、いつつぶれてもおかしくないお粗末さでした。私は迷うことなく、「日高新報」と答えました。寄らば大樹の陰という言葉もありますが、私は昔から天邪鬼で反骨精神が旺盛だったんです。「よし、10 年で紀州新報を追い抜いてやるぞ」と決意して入社しました。ところが入ってびっくり！社員 10 人で、記者は編集長以下 5 人おり、いずれも一回り以上年上のおいやんばかり。あとは工場の職人で、鉛の活字を拾う文撰工と、一枚一枚手で差して印刷する印刷工。発行部数はたったの 800 部。これでよく新聞が出てくるなあというのが第一印象でした。3 日で東京へ逃げ帰りたくなりました。しかし、ここで尻尾を巻いたら、何のために帰ってきたのか一生後悔すると思いとどまり、大改革に乗り出しました。1 年後に編集長になりましたが「この青二才が！お前にそんなこと言われる覚えなし」と反発されたりしました。私は一歩もひるまず、「編集長は私です。紙面作りの全責任は私にあるのですから、命令に従えないなら記者を辞めて下さい」と迫り、次々と退職に追い込みました。結局、工場のわがままな職人も含めメンバーの一新するのに 10 年かかりました。こうして若い顔ぶれにチェンジはしましたが、10 年で紀州新聞を追い抜くという目標には程遠く、いつ倒産してもおかしくない経営難はほとんど改善されませんでした。それでも部数は、2,500 部を越えるほどに伸ばしておりました。その後も優秀な社員がある日突然、紀州新聞に引き抜かれる等々の新聞発行に支障を期すトラブルとの闘いの日々が続きました。そして平成元年、前社長が脳溢血で急逝、後任社長に就任致しました。入社して 17 年が過ぎ、部数は 5,000 部をようやく越え、紀州新聞の背中は少し見えてきていましたが、まだ遠かった。私はこれまでの努力の繰り返しではなかなか追いつけないと思い、乾坤一擲の大勝負に出ました。平成 3 年 3 階建ての社屋と印刷工場を新設、新鋭の輸転機を導入致しました。幸い土地は私の所有地でしたが、それでも総事業費は約 3 億 2,000 万円を要しました。さすがに 1~2 年は苦しい状態でしたが、その後はぐんぐんと上昇カーブが続き、6 年前の創刊 70 周年について肩を並べ、頭一つリードすることが出来ました。10 年のはずが実に 27 年の歳月がかかってしまいました。昨年、創刊 75 周年記念式典を催しましたが、今は完全にライバルをリードし、部数も約 15,000 部を発行しております。そんな私の 30 年間の地方新聞経営の経験を買われたのか 3 年半前「和歌山新報」を引受ける羽目になってしまいました。「和歌山新報」は 11

年半前、創刊されましたが、1 年で挫折、次いで県都を中心とする日刊地方新聞として再出発しましたが、これも 7 年で破綻。3 番バッターとして私がバトンタッチ致しました。県下には現在、日刊地方新聞は 6 社あります。新宮の紀南新聞、勝浦の南紀州新聞、田辺の紀伊民報、御坊の日高新報と紀州新聞、そして和歌山の「わかやま新報」です。紀北は 1 社だけ。県都に日刊地方新聞がないのは全国都道府県を見ても滋賀県ぐらいしかありません。どうして和歌山で地方新聞が育たないのか？色々な理由があると思いますが、私は、市民が必要としていないことが最大の原因だと思います。明治時代から和歌山には日刊地方新聞が何十と誕生し、消えて行きました。海南市にも和歌山海南新聞がありました。藤井義一さんが経営され、昭和 24 年頃には 2 代目海南市長の隅田修二さんが社長をされたこともあったと聞いております。残念ながら平成 5 年に廃刊となっております。地方新聞は地域の明日をリードするオピニオンリーダーであります。地域の発展の水先案内をするのが地方新聞であります。従って健全な地方新聞にない地域の繁栄はあり得ない。私はそう信じています。中央紙が書かないことを報道するのが地方紙だと力説しています。住民の身近な話題や出来事をより多く知らせるあげることが、最も読者と密着する近道なんです。それも午前中のニュースを夕方配達して読めるようにすることが大切です。社員一丸となり、全力を注いで地域密着の地方新聞にしていまいますので、どうか皆様の応援をお願い致します。「わかやま新報」を育てて下さい。4 月から紙面刷新し、海南・那賀版を切り離し、それぞれ 1 ページずつにするよう、今準備中です。海南の部数が誠に少ないので増やしたいのです。どうか皆さん、ご購入をお願い致します。

9. 次回例会

平成 16 年 2 月 23 日 (月)

12:30 ~ 海南商工会議所 4F

10. 閉会点鐘

*** ニコニコ・BOX ***

新垣 勝君	あと 1 期医師会長を務めることになりました。よろしく。
西川富雄君	1 週遅れですが、先々週の土曜日嬉しい知らせがあり、一杯飲み過ぎました。
西峰義文君	いつも行けなくて、すみません。
山畑弥生君	紀の女会、出席してきました。
瀬藤友子君	紀の女会、出席してきました。
吉田昌生君	2 月 21 日(土)藤白王子権現本堂にて、初午会式を行ないます。厄除けの餅投げもありますので、お参り下さい。
田中丈土君	津村様、川口様、本日はどうもありがとうございました。
宮田貞三君	〃
瀬藤友子君	〃